

兵庫県内 6 局のモニタリングポスト すべて低線量率しか測定できず
 これでは避難の基準値*を測定できず、避難の役には立たない

SPEEDI 等の予測的手法は使わないといいながら、
 モニタリングポスト 6 局は全て低線量率しか測定できず
 (*500 μ Sv/h で即時避難、20 μ Sv/h で一週間以内に一時移転)

測定局名	測定場所		測定機関	測定可能な空間線量率	
				低線量率 10 μ Sv/h まで	高線量率 100mSv/h まで
1. 県立健康生活 科学研究所	神戸市兵庫区	県立健康生活科学研究	兵庫県	○	
2. 阪神南県民セン ター	尼崎市	尼崎総合庁舎	兵庫県	○	
3. 中播磨県民セン ター	姫路市	姫路総合庁舎	兵庫県	○	
4. 但馬県民局	豊岡市	豊岡総合庁舎	兵庫県	○	
5. 丹波県民局	丹波市	柏原総合庁舎	兵庫県	○	
6. 淡路県民局	洲本市	洲本総合庁舎	兵庫県	○	

● 兵庫県における環境放射能測定結果

<http://www.kankyo.pref.hyogo.jp/JPN/apr/topics/kankyo-hoshano/index.html>



● 測定場所：低線量率（10 μ Sv/hまで）しか測定できず

- 兵庫県の放射性物質拡散シミュレーションでは、県内の多くの市町で甲状腺等価線量 50mSv を超えている。
- 福島原発事故では、50～60 km圏で 20 μ Sv/h を超えている。高線量率の測定器が必要。篠山市等が該当する。
- それにも関わらず、広い面積の兵庫県で 6 局でしか測定していない。そもそもモニタリングポストが少なすぎる。高線量率の測定器が必要。

作成：美浜の会 2015. 12. 3.